

◆ 今週のコメント

- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は6.73(276例)で、過去5年平均値(6.69)をやや上回っています。年齢階級別では1歳(51例)が最も多く、4歳以下が56.9%(157例)を占めています。
- ・ 流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は0.56(23例)で、過去5年平均値(0.47)を上回っています。年齢階級別では、4歳以下が69.6%を占めています。
- ・ RSウイルス感染症の報告が8例あります。平成21年第46週以降、報告が連続しており、第51週以降は過去5年平均を顕著に上回っています。

◆ 今週のトピックス:<インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は6.78(461例)、全国は9.18で、本市は平成21年第47週以降、全国は第48週以降、減少しています。

年齢群別では、「20～29歳」が最も多く、次いで「30～39歳」、「0～4歳」の順となっています。

なお、平成22年1月16日には、市内で5例目の死亡例(男、20歳、基礎疾患調査中)が報告されています。

詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

ありません。

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68、小児科定点41、眼科定点10、基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	6.78	461
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.73	276
	② 水痘	1.07	44
	③ 流行性耳下腺炎	0.56	23
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.37	15
	⑤ RSウイルス感染症	0.20	8
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

病原体情報

ありません。

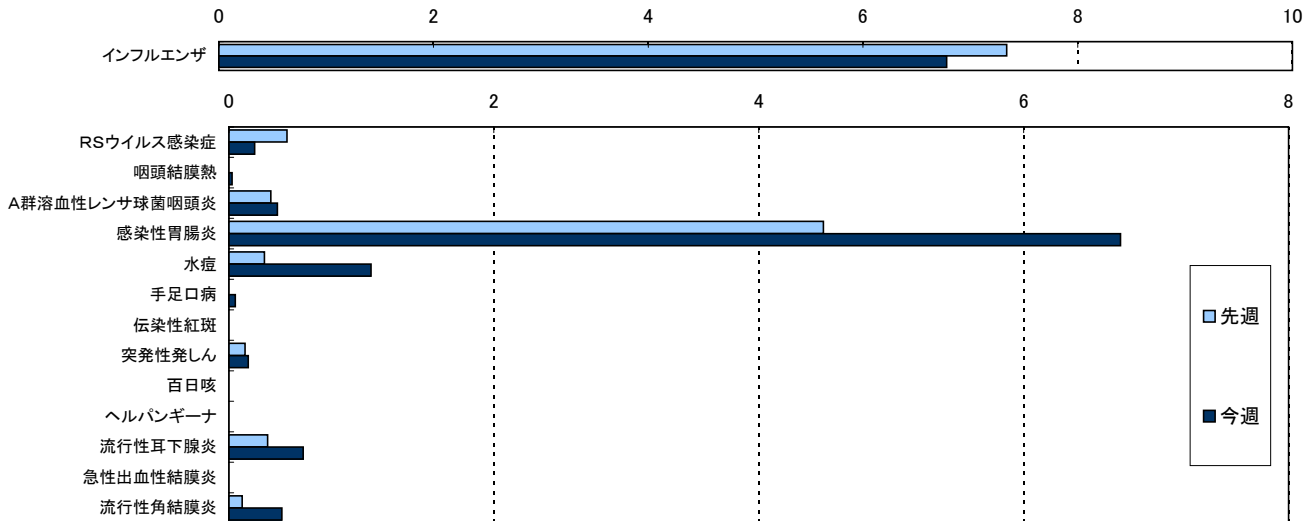
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<インフルエンザ>

(注) 京都市のデータは、平成22年1月14日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。
病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

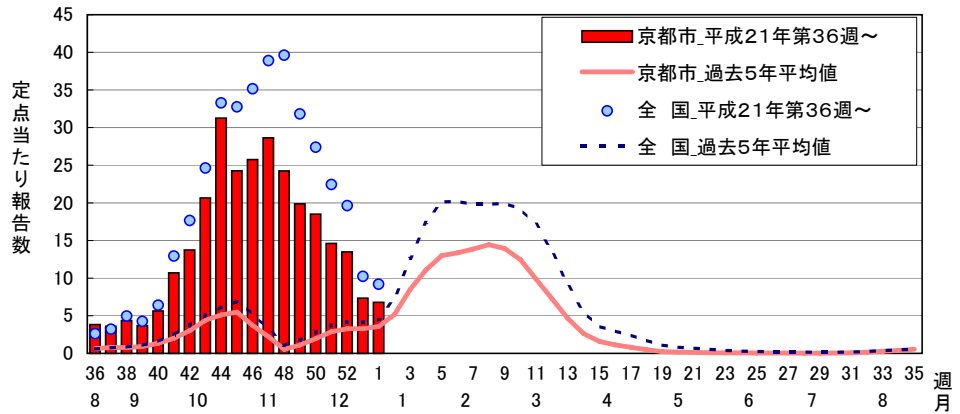
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(平成22年第1週)と先週(平成21年第53週)の定点当たり報告数の比較



2 インフルエンザの推移

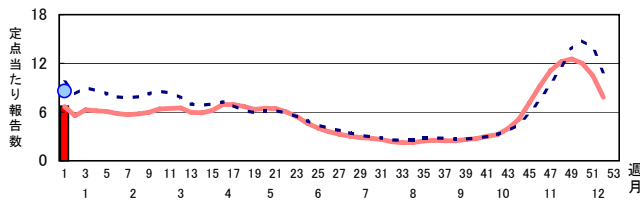
週	報告数(例)
平成21年_第50週	1258
第51週	993
第52週	917
第53週	499
平成22年_第1週	461
累積報告数 (平成21年第36週以降)	19101



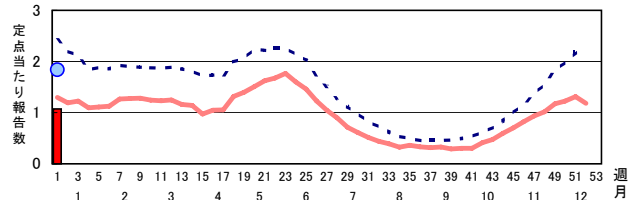
3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>

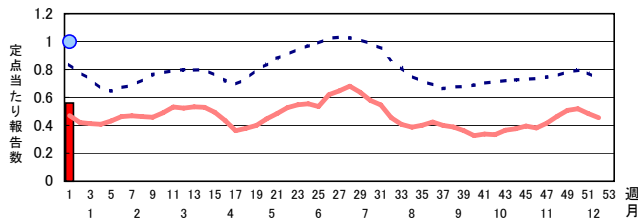
1 感染性胃腸炎



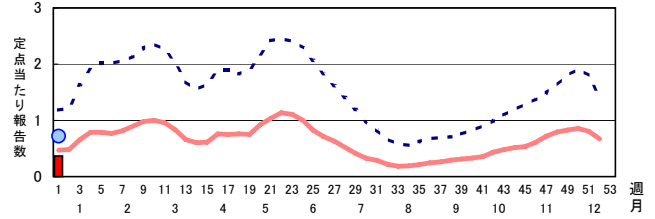
2 水痘



3 流行性耳下腺炎

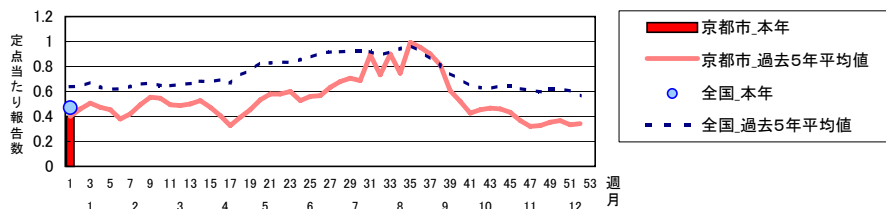


4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



<眼科定点>

流行性角結膜炎



第1週(1月4日～1月10日)トピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は6.78(461例)、全国は9.18で、本市は平成21年第47週以降、全国は第48週以降、減少しています。

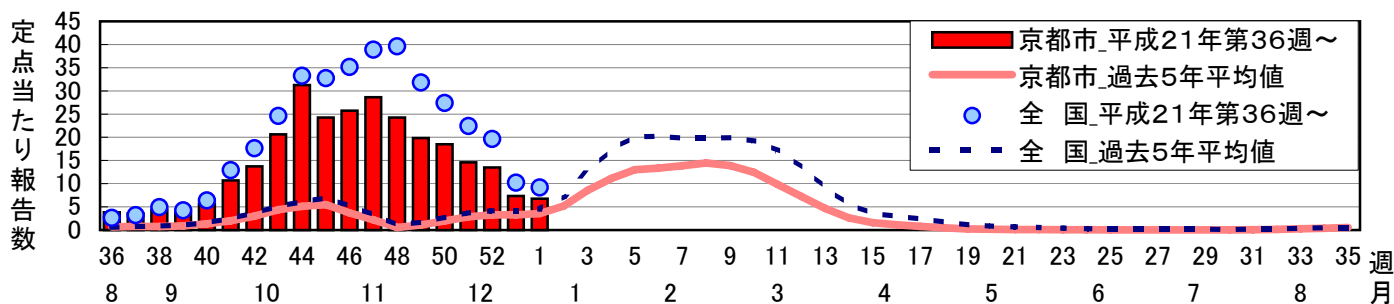
年齢群別では、「20～29歳」が最も多く、次いで「30～39歳」、「0～4歳」の順となっています。0歳から14歳の低年齢層では、第47週以降、報告数が減少していますが、20歳代では横ばいとなっています。

全国の年齢群別死亡者率は、「0～4歳」、「5～9歳」の年齢群のほか、「40～49歳」、「50～59歳」、「60歳以上」の年齢群で高くなっています。全国の死亡者数の週別報告数は、死亡1例目(第33週)以降、第49週(22例)が最も多く、次いで第44週(14例)、第53週(13例)の順となっており、平成22年第1週は、8例の報告があります。

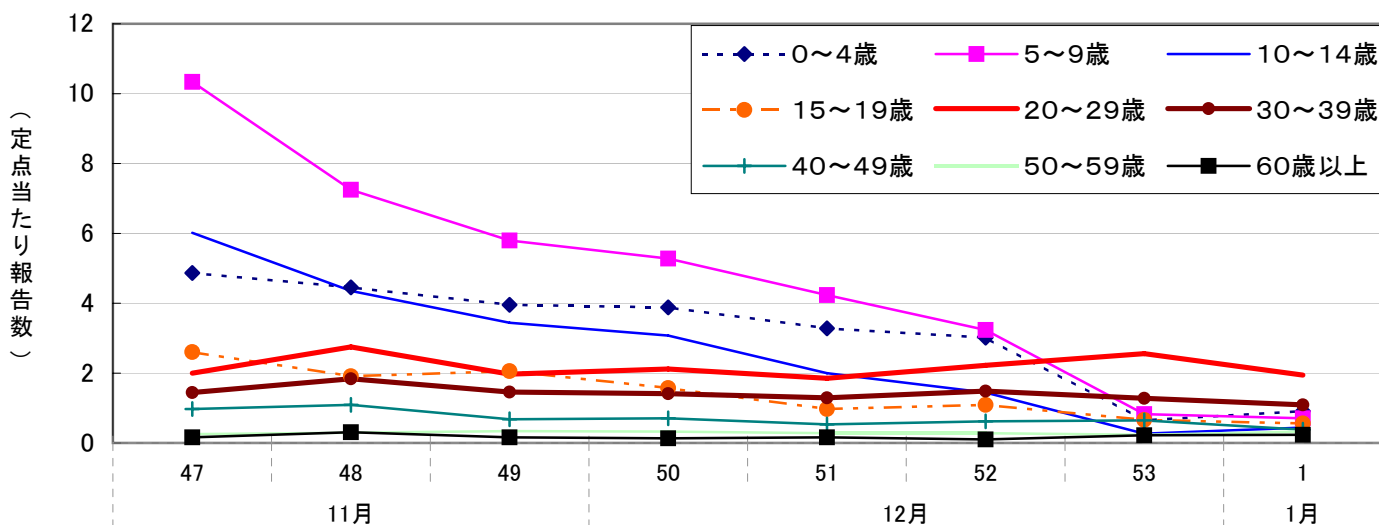
なお、平成22年1月16日には、市内で5例目の死亡例(男、20歳、基礎疾患調査中)が報告されています。

第1週に京都市衛生公害研究所でPCR検査を実施した17例のうち、14例からA型インフルエンザウイルスが検出され、そのすべてがAH1pdm(新型)でした(3例は陰性)。

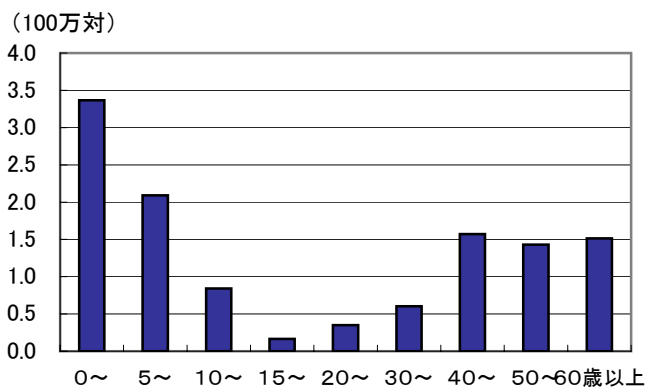
本市及び全国の定点当たり報告数の推移



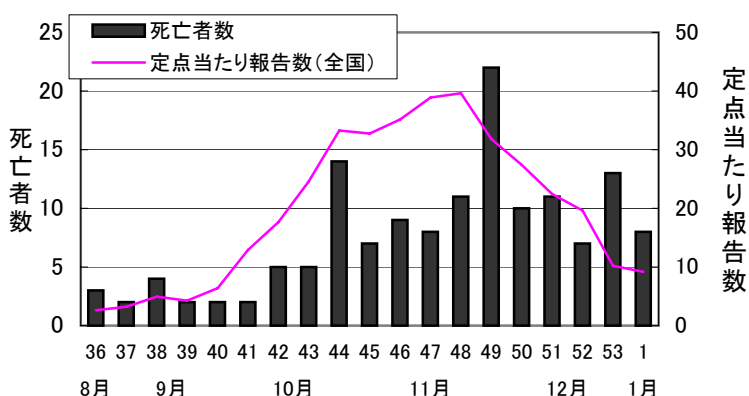
本市の年齢群別構成割合と定点当たり報告数の推移



全国の年齢群別死亡者率



全国の死亡者数の推移



死亡者率…新型インフルエンザによる死亡者累積報告数(n=158, 1月15日現在)を平成20年人口動態調査の年齢群別人口で割った値